

平成16年度主要事業

1 参画と協働のまちづくり

- ① 「日野いいプラン2010」に基づく事業を引き続き推進
- ② 電子自治体に向けて電算化総合計画を推進。その一環として電子自治体共同運営や税総合システム、福祉関係システムの改善等を行い、更なる市民サービスの向上を図る
- ③ NPO（市民活動団体を含む）法人等への積極的支援を促進



▲市民会館で行われたNPOフォーラム

- ④ 土地開発公社の経営健全化を進め、市として必要な土地を取得し、不要不急の公有地・市有地の有効活用と処分を推進
- ⑤ 行政評価システムの第一歩として事務事業評価を試行

2 日野人・日野文化を育てるまちづくり

- ① 小・中学校の校舎等の整備を年次計画に沿って推進。平成16年度は、二小ほかの校舎耐震補強、屋内運動場耐震補強工事等を実施
- ② 旧高幡台小学校を教育施設として活用し、教育センターを開設。併せて中央公民館の高幡台分室を開設
- ③ 学校週5日制の対応事業として基礎学力の向上に取り組む
- ④ 学校ISOへの取り組みを試行
- ⑤ 福祉と教育の分野を超えて、新たなモデル事業（幼稚園）を推進
- ⑥ 図書館の開館時間延長
- ⑦ 中央公民館及び中央福祉センターの改築構想に着手
- ⑧（仮称）総合体育館の建設準備を推進

3 ふれあいのあるまちづくり

- ① 地域の特徴を生かした交流の拠



▲多摩平図書館（多摩平の森ふれあい館）

- 点づくりとして、多摩平の森ふれあい館、落川、新町（ミニ体育館）の各交流センターを開設。南平西部の地区センター開設を準備
- ② 上田地区センターの設置準備と鹿島台地区センターのバリアフリー化を実施

4 対等の立場で心のかよふまちづくり

- ① 高齢者支援事業として、見守り支援ネットワーク事業（在宅介護支援、高齢者見守り支援、高齢者医療・健康・介護24時間相談）を推進
- ② 障害者の自立、共生を目指して、障害者施設の経営及び運営の安定化を図る
- ③ 児童発達支援として、希望の家の増設等を実施
- ④ 子育て支援制度づくりとして、「ひのっ子すくすくプラン」を策定
- ⑤ 待機児ゼロを目指して、民間保育所等の新設と増設を支援
- ⑥ 西部子ども家庭支援センターとたまだいら児童館「ふれっしゅ」の充実を図り、（仮称）みなみだいら児童館の開設準備等、子育て支援を推進
- ⑦ 男女平等推進センターを開設

5 だれもが健やかでいられるまちづくり

- ① 「日野人げんき！」プランをさらに推進
- ② 小児初期救急（平日夜間診療）への体制の確立
- ③ 女性なんでも健康相談事業やマングラフィによる乳がん検診等で具体的に女性の健康を支援

- ④ NHK健康フェアの共同開催事業や感染症等健康危機管理事業等で健康づくりの意識啓発を推進
- ⑤ パワーリハビリテーション事業を自立支援事業と元気高齢者づくり事業として拡充
- ⑥ 医師会の協力を得た子育て支援事業の検討・推進
- ⑦ 高齢者の健康づくりとしてさわやか健康体操の充実を図る

6 住みやすいまちづくり

- ① 豊田駅北まちづくりとして、駅周辺道路のバリアフリー化に向けた調査を実施。あんしん歩行エリア道路整備
- ② 日野駅周辺の整備事業を引き続き推進



▲整備が続く日野駅前

7 気軽に出かけられるまちづくり

- ① ユニバーサルデザインのまちづくりを目指して、交通バリアフリー基本構想の策定を推進
- ② 市内ミニバス路線の充実
- ③ 丘陵地ワゴンタクシーにより丘陵地の市民の利便性に配慮した運行の拡充を図る

8 自然と人が共生するまちづくり

- ① 地域新エネルギービジョンを活用するため、環境基本計画を見直し、プロジェクト等の仕組みづくりを推進
- ② 百草緑地、日野緑地など、貴重な環境資源・財産としての緑地の取得と保全を推進

9 安全で安心なまちづくり

- ① 児童・生徒の安全対策として学校安全サポートチームがパトロールを行うとともに、小学校に防犯カメラを設置
- ② 市民生活の安全確保のため、生活安全市内パトロールを実施
- ③ 消防車両・可搬ポンプの購入を進め、消防団詰所器具置場の工事を実施
- ④ 道路点検隊による市内道路の点検を行い、改善の必要個所の把握と資料収集を図る。バリアフリー化などの検討を継続
- ⑤ 放置自転車対策を高幡不動・豊田・日野駅周辺で実施
- ⑥ 特徴ある公園づくりと公園のバリアフリー化を市民とともに推進

10 個性と魅力と活気のあるまちづくり

- ① 「新選組フェスタin日野」万願寺メイン会場、日野宿本陣、ふるさと博物館のにぎわいで市の元気回復を推進
- ② 一番橋通り（都市計画道路3・4・14号線）の整備を引き続き推進
- ③ 将来国道となる日野バイパス（都市計画道路3・3・2号線）及び四ツ谷地区立体交差線（都市計画道路3・4・8号線）整備を引き続き促進



▲日野バイパス（3・3・2号線。日野税務署付近）

- ④ 日野市独自のまちづくり条例の策定を推進
- ⑤ 高幡不動駅舎建て替え及び自由通路設置改修整備事業を促進し、商店街などの活性化を図る
- ⑥ 長引く不況に対応するため、若年者雇用支援事業や緊急地域雇用創出特別交付金事業などにより、市民の雇用機会の拡充と促進を図る

平成16年度予算(案)

一般会計

497億4千100万円

前年度比10・2%増

▼歳入

市税は、25億8千140万円、前年度比1・4%増となりました。主に法人市民税、固定資産税の増を見込んでいます。

市債は、7億4千450万円、前年度に比べ136・3%増となりました。主に、平成7年度8年度の減税補てん債借り換え分です。

地方交付税は、3千万円で、前年度比96・7%の減で、普通交付税の不交付、特別地方交付税の減を見込んでいます。また、交付税制度改正による臨時財政対策債を19億円と前年度より3億8千万円の増を見込みました。

交付金関係では、配当交付金、株式等譲渡所得交付金が新たに交付されることになり、合わせて8千万円の増を見込んでいます。

国庫・都支出金は、合わせて3億6千772万1千円の増を見込んでいます。

▼歳出

前年度に引き続き、行財政改革遂行型予算を基調として、「市民の視点に立つた行政サービスと夢のあるまちづくりの推進」の基本理念を堅持し、諸施策を推進します。今年度は、減税補てん債の借り換えにより予算額が増えています。給料の2%カット、経常経費の5%カットなど、内部努力を図り、歳出を抑え、歳入との均衡を図つたため、減税補てん債の借り換えを除くと、前年度予算額より、やや少ないマイナス予算となりました。

また、予算編成においては、新たに事業部予算配分方式をモデル実施し、予算の有効配分を図りました。

平成16年度予算の特徴は、緊急課題対策として、「健康施策、子育て育ちを支援する施策、小・中学校施設整備事業及び特色ある学校づくり施策」について重点配分しました。

また、地域の交流の拠点として、（仮称）新町、落川交流センター（仮称）みなみだいら児童館などの複合施設の整備、京王線高幡不動駅舎橋上化とバリアフリー化などを図るとともに、市民・学校安全対策サポート事業、小

学校防犯カメラの設置など、安全で安心なまちづくりを進めていきます。

健康福祉の分野では、高齢者、障害者、子育て、健康づくりの各計画を結ぶ横断的な総合計画として、地域福祉計画（ともに支えあうまちプラン）を策定し、総合的有機的に地域福祉の推進をしていきます。

幼児教育の分野では、幼稚園・保育園を一体化しての、幼児期の学びの保障・教育のあり方についての研究を行います。

また、市民の雇用機会の拡充と促進のため、若年雇用支援事業などを展開してまいります。さらに、平成15年度の市制40周年、16年度の「日野宿」開設40年という節目が、「新選組ブーム」の到来と重なることを好機として、市の活性化事業を重点に取り組んでいきます。

その他、日野駅周辺整備・一番橋通り（都市計画道路3・4・14号線）などのまちづくり、「日野いいプラン2010」（第4次日野市基本構想・基本計画）、土地開発公社経営健全化なども引き続き推進してまいります。

特別会計

47億7千662万6千円

前年度比5・5%増

国民健康保険特別会計が11億8千万円、老人保健特別会計が5億7千万円、介護保険特別会計が3億2千万円など、主に加齢者及び医療費の増により増額となりました。

このほか、下水道事業特別会計が3億9千万円、病院事業特別会計が1億7千万円など増となりました。

おわりに

以上、市政運営の基本及び平成16年度予算の概要を申し上げます。

厳しい時代が続きますが、市民の皆様とともに創りあげるまちの原点を忘れることなく、あらゆる可能性を探りつつ、山積する課題にチャレンジしていきます。

今年のスローガンとして、「おもてなしの心」を合言葉に、市民の皆様とともに誇りをもって、「新選組のふるさと日野」を語れるよう、努力する所存です。

市議会議員各位ならびにすべての市民の皆様、重ねてご理解・ご協力をお願い申し上げます。

平成16年度所信とさせていただきます。